

## 高齢者を狙う消費者トラブル④…訪問購入

訪問購入とは、業者が個人宅に訪問し品物を買取ることです。狙いは貴金属で、渡すと取り戻すのが困難な場合が多くあります。

## 【問題点】

- ・「なんでも買取る」と言ったのに「貴金属を出して欲しい」とすごまれて恐怖を感じた。
- ・売るつもりがなかったので、売った金額が高いのか安いのか分からない。
- ・数日して「返してもらいたい」と業者に伝えても、他の人に転売されて返してもらえない。

## 【事例】

- ①「アジアの貧しい子に寄付する為にいらぬ靴を買いたい」と電話があり、人の為になるならと思い来訪を承諾した。しかし靴には目もくれず「貴金属はないか」と強引に質問してきた。怖くなり、ネックレスなど4点見せたところ「4点4千円で買取る」と言われ、早く帰ってほしかったので承諾した。「クーリング・オフはしないでね」と言われ念書にサインした。
- ②知らない業者から電話があり「不用品を買取る」と言うので、来訪を承諾した。ところが家に来たとき「貴金属はないか」と言われ、仕方なく大切にしていた指輪を見せた。すごまれたので渡したが、返してほしくて連絡をした。業者は「知らない第三者に転売した。もう取り戻せない」と言った。

## 【アドバイス】

(事例1)クーリング・オフはできます。念書は無効です。(期間は8日間)

(事例2)買取られた品物だと知らない第三者の場合、取り戻すことは困難です。

## 【被害にあわないためには】

- ・訪問目的を確認し、安易に来訪を承諾しないようにしましょう。売るつもりがない品物について勧誘されたら、きっぱりと断りましょう。
- ・訪問購入の場合、業者に来訪を断れば、二度と来訪することができずと法に定められています。
- ・クーリング・オフ期間中は品物の引き渡しを断ることができます。一旦渡してしまうと、取り戻すのが困難なので、迷いがあれば8日間は、手元に置いて冷静に考えましょう。
- ・書籍や車など訪問購入に当たらない品物もあります。消費生活センターにお問い合わせください。

松伏町消費生活センターでは、消費生活相談を実施しています。月～木曜日 午前10時～正午、午後1時～4時

問合せ:教育文化振興課 ☎991-1873/企画財政課 ☎991-1815

## 人権それは愛

今月は「松伏町小・中学校人権作文集一第6集一」の作品の中から、中学校3年生の作品を紹介します。

## 「言葉の責任」

私は自分があわて者だと思う。だからこそ口から出す言葉も頭でしっかり考えず、ぼんぼん言ってしまふ。だからきっと私のなにげない一言により傷ついた人もたくさんいるだろう。「ごめん」ですまされないようなことも。

最近私はふと分かり始めた。自分の言った悪口は自分に返ってくるということ。よく、小さい頃親に言われた。けどそんな事、信じたりしなかった。自分が良くしてれば言われることはない、そう思った。でも違った。悪口を言うことは人を傷つける。たとえその人がどんなに嫌な人でも、それは私からの見方であって、違う人から見れば良い人かもしれない。友達が友達を良い人・悪い人と裁いてはいけぬのだ。きっと言われた人は、言われたことに対して、また悪口を言うだろう。ずっとその繰り返し。こんな悲しいこと、いったい誰がとめてくれるのだろう。早くとめたい、そう思った時に、悪口はまわりまわっていると気付いたのだ。特に女子は、男子よりもなぜかそういう事が多い。私も今まで一度、女なんて嫌だと思ったことがある。それは、私と親友の話である。その親友とクラスが離れ、お互いに違う友人ができて、親友と話すことも少なくなっていた。親友が仲良くしていた友達は、私と仲が悪く、親友も少しずつその輪に入り、私と親友との仲もあやうくなり始めた。私と親友の二人は、お互いに悪口を言い始めた。最初は私だけが言っているだけだとずっとそう思っていた。でも、親友も私の悪口を言っていたと聞き、私はすごくショックだった。悲しくてたまらなかった。「こんな風になるなんて。」

その言葉が頭の中だけでなく全身にいきわたった気がした。だけど、このままじゃいけないと思い、勇気を出して、二人で話し合った。最初はお互い言い合ったけど、涙を流して仲なおりました。今でも忘れないあの言葉。「うちら、ずっと友達だよ。」

そう言ってくれた時、やっぱり親友だと思った。今はもう仲の良い大切な親友。こんな事を言うのはおかしいけれど、あの時ケンカして良かったと思う。だって、これによって悪口は自分に返ってくるという事、そしてとても人を傷つけるということを学んだのだから。これからは悪口を言ってしまうこともなくなるかもしれない。しかし、その人が傷つくことを考えて、それでも悪口を言えるのかをしっかりと自分の心に問いただしてみようと思う。その時、自分の良心が、「いけないよ。」といえるように、自分の心を鍛えていきたい。自分の言葉に責任を持って…。

この人権作文は、児童・生徒のみなさんに、人権や差別について考えていただき、他人の心の痛みがわかる、差別のない・許さない・見のがさない人になってほしいと願って作成されています。